

平成27年度施策評価シート

<1.施策の概要>

施策 No.	1171	施策名	下水道によって快適に暮らせるまち	主 担 当 課	下水道課
大項目	安全で快適なまちづくり				
基本 方針	下水道は、健康で快適な生活環境の改善と、公共水域の水質保全を図ることを目的とし、市民生活に欠くことのできない根幹的な施設です。 笠岡市下水道基本計画に基づき、計画的な整備を進めます。			関 係 課	

<2.施策を構成する事務事業の概要>

1	公共下水道整備事業(笠岡処理区)											
事務事業の目的						事務事業の内容						
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
公共下水道(笠岡処理区)整備区域内住民		清潔で快適な生活環境を確保するとともに、公共用水域の水質保全と浸水の防除を図る。				公共下水道事業(笠岡処理区)について、全体計画区域1,577ha(計画処理人口33,600人)のうち、認可区域878ha(認可処理人口29,700人)を整備する。						
取組内容	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	●公共下水道事業の実施 処理場(改築更新工事) 面整備(茂平・神島外, 吉浜等枝線) 累計整備面積:681.6ha			●公共下水道事業の実施 処理場(改築更新工事) 面整備(茂平・神島外, 吉浜等枝線) 累計整備面積:691.5ha			●公共下水道事業の実施 処理場(増設工事) 面整備(茂平・神島外, 吉浜等枝線) 累計整備面積:698.9ha			●公共下水道事業の実施 処理場(増設工事) 面整備(茂平・神島外, 吉浜等枝線) 累計整備面積:733.1ha		
直接事業費	決算額	540,720	千円	決算額	649,121	千円	決算額	730,665	千円	決算額	759,438	千円
	うち一般財源	233	千円	うち一般財源	2,286	千円	うち一般財源	931	千円	うち一般財源	13,063	千円

2	特定環境保全公共下水道整備事業(北部処理区)											
事務事業の目的						事務事業の内容						
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
公共下水道(北部処理区)整備区域内住民		清潔で快適な生活環境を確保するとともに、公共用水域の水質保全を図る。				公共下水道事業(北部処理区)について、全体計画区域143ha(計画処理人口3,000)人のうち、認可区域73ha(認可処理人口1,600人)を整備する。						
	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組内容	●公共下水道事業の実施 ・甲弩地区 整備面積: 13.7.ha			●公共下水道事業の実施 ・甲弩地区 幹線工事のみ			●公共下水道事業の実施 ・甲弩地区 累計整備面積: 14.5.ha			●公共下水道事業の実施 ・甲弩地区 累計整備面積: 18.5.ha		
直接事業費	決算額	200,591	千円	決算額	105,672	千円	決算額	124,795	千円	決算額	134,225	千円
	うち一般財源	71	千円	うち一般財源	3,907	千円	うち一般財源	181	千円	うち一般財源	148	千円

3		下水道経営事業(下水道使用料徴収)											
事務事業の目的						事務事業の内容							
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)											
下水道使用料金を滞納している者		各年度末における過年度未収金を縮減するとともに、現年度での新規滞納を防ぐ。				・電話催告・個別訪問等による徴収を行い、現年度分滞納者に対し即座に催告多期に渡る滞納を防ぐ。 ・過年度滞納者に対し履行可能な分納誓約書を取る。 ・口座振替の推進及びコンビニ収納の推進・定着を図る。							
		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度					
取組内容		●下水道使用料の見直しの検討 ・下水道使用料の徴収事務委託 徴収額:418,769千円 収納率:99.1%		●下水道使用料の見直しの検討 ・下水道使用料の徴収事務委託 徴収額:429,541千円 収納率:99.3%		●下水道使用料の見直しの検討 ・下水道使用料の徴収事務委託 ・消費税率変更による条例改正 徴収額:428,291千円 収納率:99.2%		●下水道使用料の見直しの検討 ・下水道使用料の徴収事務委託 徴収額:444,090千円 収納率:99.1%					
直接事業費		決算額	21,217	千円	決算額	22,358	千円	決算額	24,879	千円	決算額	24,943	千円
		うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円

4		下水道普及業務										
事務事業の目的						事務事業の内容						
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
処理開始区域内の住民		公共下水道へ接続することにより、地域の生活環境の向上を図る。				下水道事業の説明会や広報誌、ホームページなどを通じてPRを行うと共に未接続世帯の訪問を行い、下水道接続への理解を促し、水洗化率の向上を図る。また、排水設備工事の申請や検査、及び公共樹設置依頼等に迅速な対応を行い普及促進を図る。						
		平成23年度		平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組内容		●水洗化率向上へのPR活動 ・未接続世帯に対する戸別訪問による水洗化への啓発		→			→			→ 訪問戸数 約200軒		
直接事業費	決算額	5,846	千円	決算額	5,820	千円	決算額	4,963	千円	決算額	6,767	千円
	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円

5		管渠等維持管理業務											
事務事業の目的							事務事業の内容						
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)											
公共下水道の管渠及び排水設備		管渠及び排水設備の維持管理の適正化を行うと共に、下水道管渠管理システムによる管渠及び排水設備の維持管理の効率化・迅速化を図る					管渠修繕工事及び管渠清掃調査等を実施する。また、下水道管渠管理システムにより、管渠及び排水設備の維持管理の効率化・迅速化を図る。						
		平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組内容		●下水道管渠管理システムの導入についての検討			→			●下水道管渠管理システムの導入			●下水道管渠管理システムの有効活用 ・管渠及び排水設備の維持管理		
直接事業費		決算額	5,782	千円	決算額	4,108	千円	決算額	31,419	千円	決算額	7,768	千円
		うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円

6	漁業集落排水施設維持管理業務												
事務事業の目的						事務事業の内容							
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)											
漁業集落排水施設を利用する島民		漁港及び周辺海域の自然環境の保全に努め、島民の快適な生活環境の充実を図る				適正な運転管理を行うことにより、水質汚濁防止法による規制値内の処理水を放流する							
平成23年度		平成24年度				平成25年度				平成26年度			
取組内容	・処理施設の適正な維持管理				→				→				
直接事業費	決算額	12,078	千円	決算額	11,033	千円	決算額	11,625	千円	決算額	6,835	千円	
	うち一般財源	8,886	千円	うち一般財源	7,907	千円	うち一般財源	8,568	千円	うち一般財源	3,871	千円	

7	下水道処理施設等維持管理業務											
事務事業の目的						事務事業の内容						
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
公共下水道を使用する市民		海域の自然環境の保全に努め、市民の快適な生活環境の充実を図る。				処理場:適正な運転管理を行うことにより、水質汚濁防止法による規制値内の処理水を放流する						
取組内容	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	・処理施設の適正な維持管理			→			→			→		
直接事業費	決算額	170,160	千円	決算額	168,337	千円	決算額	185,219	千円	決算額	202,086	千円
	うち一般財源	28,922	千円	うち一般財源	31,158	千円	うち一般財源	29,263	千円	うち一般財源	27,375	千円

8	浄化槽普及事業																							
事務事業の目的							事務事業の内容																	
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)																						
公共下水道事業・集落排水事業の区域外の地域及び同事業認可区域内で7年以内に供用開始が見込まない地域に住居を有する市民				合併処理浄化槽の設置により、トイレの水化をはじめ、快適な生活環境の向上を図る。			浄化槽設置後、現地検査により補助金の交付を行う。 また、事業実績により、国県補助金の申請事務を行う。																	
平成23年度													平成24年度				平成25年度				平成26年度			
取組内容	●笠岡市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付 1 国・県補助分 5人槽 45基 6人槽 67基 8～10人槽 3基 2 特例措置(単市)分 3基						●笠岡市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付 1 国・県補助分 5人槽 48基 6人槽 51基 8～10人槽 4基 2 特例措置(単市)分 5基						●笠岡市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付 1 国・県補助分 5人槽 31基 7人槽 53基 8～10人槽 2基 2 特例措置(単市)分 3基						●笠岡市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付 1 国・県補助分 5人槽 30基 7人槽 58基 8～10人槽 2基 2 特例措置(単市)分 5基					
直接事業費	決算額	45,542		千円		決算額	41,290		千円		決算額	34,632		千円		決算額	37,116		千円					
	うち一般財源	16,155		千円		うち一般財源	12,192		千円		うち一般財源	16,124		千円		うち一般財源	10,604		千円					

＜3.施策の直接事業費(2の合計)＞

	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
直接 事業費	1,001,936	千円	1,007,739	千円	1,148,197	千円	1,179,178	千円
うち 一般財源	54,267	千円	57,450	千円	55,067	千円	55,061	千円

<4.指標>

指 標 名				目標・実績の推移					
				H22 実績	H23 実績	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H29 目標
1	下水道普及率	単位	目標				53.4	53.8	57.0
		%	実績	51.4	52.5	52.6	52.8	55.9	
			達成率				98.9%	103.9%	
2	供用開始区域の水洗化率	単位	目標				85.8	86.0	86.5
		%	実績	86.0	85.3	85.7	87.4	87.8	
			達成率				101.9%	102.1%	
3	汚水処理人口普及率	単位	目標				73.8	74.5	79.0
		%	実績	71.3	72.6	73.2	74.1	76.4	
			達成率				100.4%	102.6%	

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

委員コメント	対応・回答
・技術的かつコスト的に可能ならば小規模分散型施設が望ましいと考えられます。	→ 笠岡市下水道基本構想で、市内全域の汚水処理方法を効率的な手法で計画し進めています。今後の整備区域の中には家屋が点在し、整備効率が悪くなる地区も予想されることから、再度構想の見直しを行い、効率的な整備手法を検討します。
・今後、下水道管渠管理システムを効率よく稼働し、維持管理業務を遂行していただきたい。	→ 管渠情報の紙台帳を電子システム化することで、窓口業務及び電話での問い合わせにも迅速な対応が可能となり、市民及び業者から好評を得ています。今後は、システムの適正な維持管理により、効率的な稼働を行ってまいります。
・下水道料金について、適正な料金なのか検討していただきたい。	→ 下水道の事業経営を行うに当たり、まず下水道基本構想の見直しにより整備手法等の検討を行います。また、維持管理を行う上での老朽化対策や震災対策の方針を定めていくことに併せて、適正な下水道使用料についても財政面から検討する予定です。

<6.平成26年度の振り返り>(担当部署自己評価)

施策の 進捗度 A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B
--	---

<7.施策の課題と改善案>

課題と改善案	・公共下水道整備事業: 今後の整備区域では、家屋が点在し整備効率が悪くなっていくため、各区域毎に効率的な整備手法を採用するよう、笠岡市全体での下水道基本構想の見直しを行う。 ・下水道経営事業: ストック状況を把握し経営状況を明確にする必要があるが、当面は地方公営企業法の適用に向けて、固定資産の調査・評価及び移行事務についてスケジュールどおりに進める。 ・管渠等維持管理: 今後行う固定資産情報のシステム化を検討する必要があるが、現行の下水道管渠管理システムが活用できるかどうか研究を行う。 ・下水道施設等の維持管理事業: 施設の老朽化に伴う対応が必要であり、長寿命化事業計画を策定し設備の最適化を図る。
--------	---

<8.委員による評価結果>

総合評価	A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。	B	(参考) 昨年度の評価結果 (前期4年間の総合評価)	B
コメント	・公共下水道が整備されていても、実際下水道につなげていない家庭も多いように思います。整備だけにとまらず、しっかりつないでもらえるような取組を行っていただきたいと思います。			